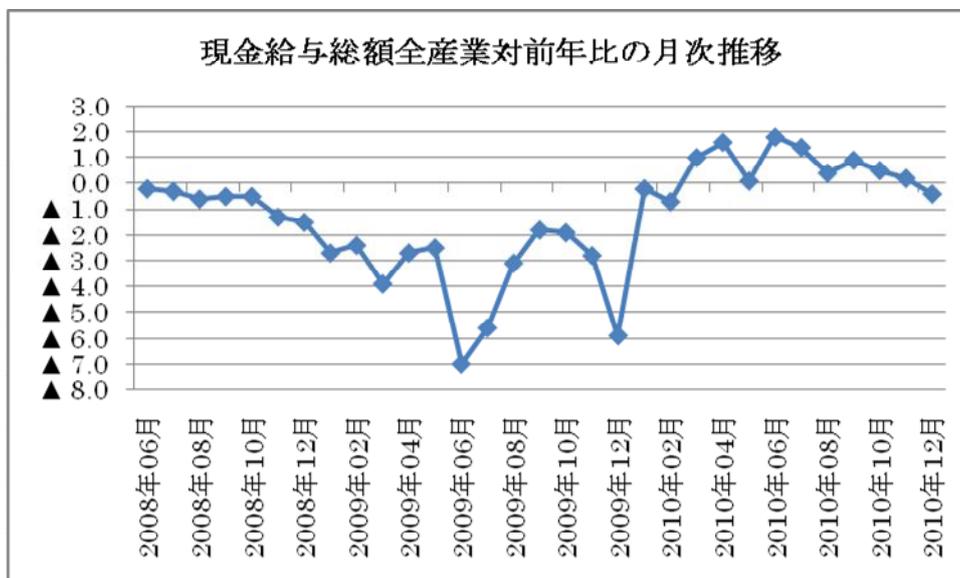


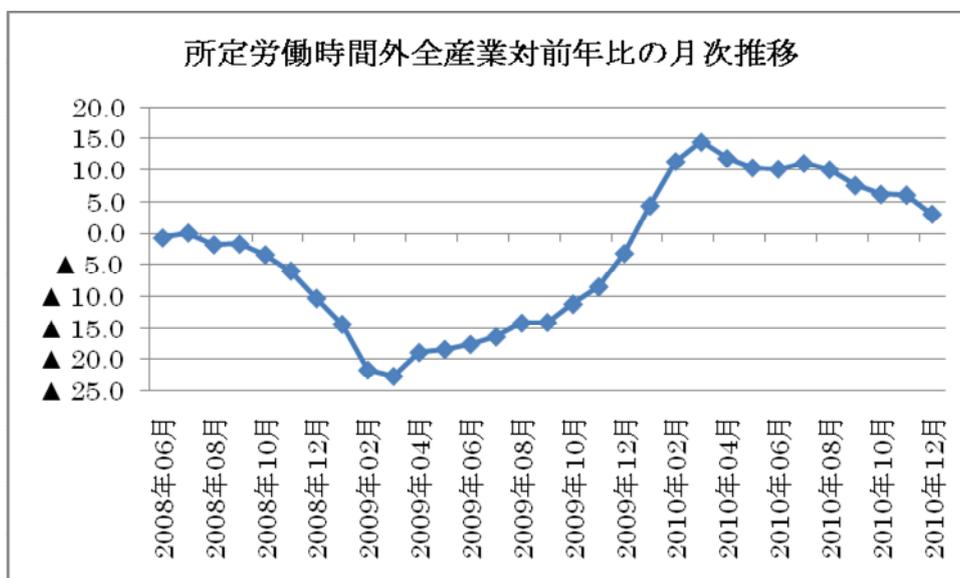
6. 雇用に関する指標



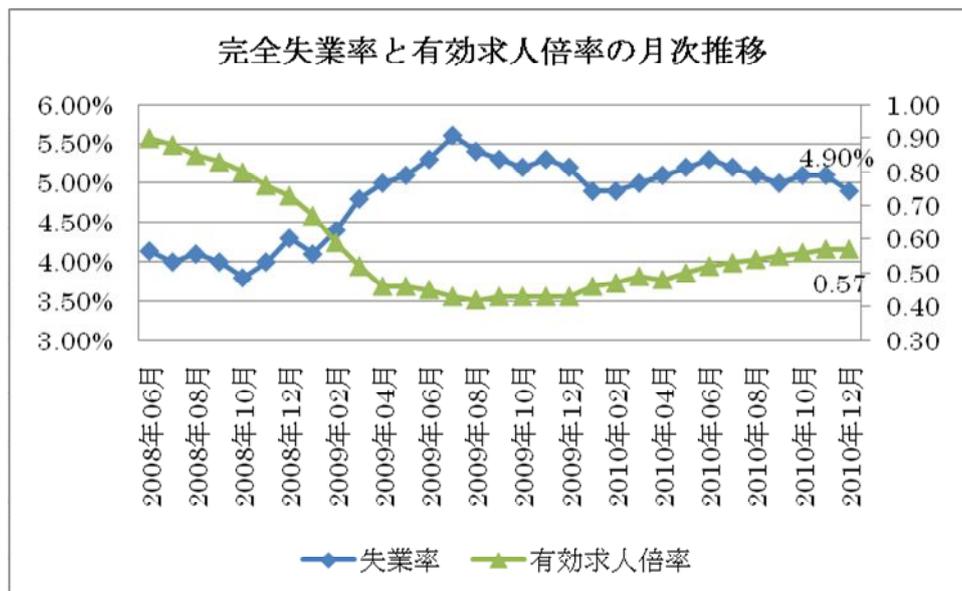
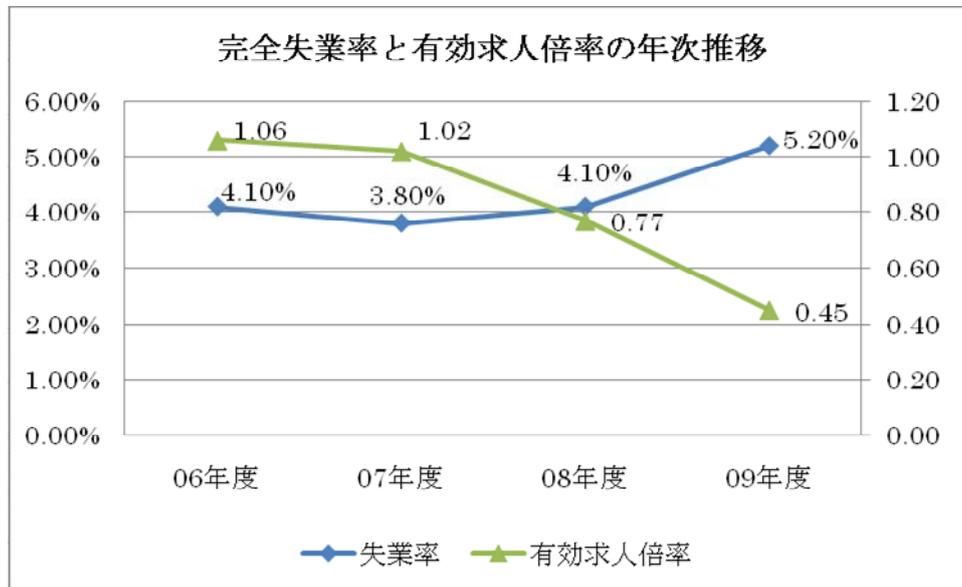
現金給与総額全産業は一人当たりの給与の総額を示しています。

給与総額の意味は「所定内給与 + 残業代 + 賞与」です。

2010年3月から対前年同月比の上昇がプラスに転じましたがその後は上昇率が下降して右肩下がりの状況となっており、これに連動して家計消費支出も再び減少に転じています。



所定労働時間外とは残業代を指します。2009年3月を底として、2010年1月に対前年比でプラスに転じましたが、2010年3月をピークとして早くも上昇率が低下傾向にあります。



新規学卒者を除きパートを含んだ完全失業率は4.9%（2010年12月現在）と依然として高い状況が続いていますが、ようやく5%の大台を切りました。

就職活動が1年以上になる人の再就職が厳しさを増しています。

有効求人倍率については、わずかながらですが企業の業績改善に伴いゆるやかに上昇しています。2010年12月時点の完全失業者数は男女合わせて323万人となっています。